

令和5年度 全国安全週間川崎北地区推進大会開催



第96回全国安全週間に先立ち「全国安全週間川崎北地区推進大会」が6月2日（金）午後1時より川崎市高津市民館大ホールにて131名が参加して開催されました。（主催＝川崎北労働基準行政関係団体協議会、後援＝川崎北労働基準監督署、川崎北公共職業安定所）

第一部では、神奈川県社会保険労務士会川崎北支部の豊島支部長による開会の辞、川崎北労働基準行政関係団体協議会の原会長の挨拶に続き、川崎北労働基準監督署の渋谷署長が「昨年の管内における労働災害発生状況について、製造業、建設業は過去最少であったものの、前年よりも増加してしまいました。今後は特に、年々増加傾向にある高年齢労働者の労働災害や、原因として最も多い転倒災害の再発防止対策に労使一丸となって取り組んでいくことが重要である」。また、南宮前区長が「昭和3年から中断することなく継続されてきた安全週間の活動について、関係者の尽力に敬意を表する。より一層の労働災害の減少、安全水準の向上を図るためには、組織的、計画的、継続的な安全活動が必要である」とそれぞれ挨拶されました。

安全表彰では原会長から表彰対象の株式会社北見建築に対し、表彰状と記念品が授与されました。

続いて、川崎北労働基準監督署安全衛生課の吉田課長が全国安全週間の実施要綱、労働災害発生状況、第14次労働災害防止計画などについて、川崎北公共職業安定所の新川雇用指導官が障害者雇用、人材育成の助成金、高年齢者雇用について説明し、最後に陸上貨物運送事業労働災害防止協会川崎北分会の沖島副会長が本大会の大会宣言を声高らかに読み上げて第1部は終了しました。

第二部では、独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生研究所の柴田氏を講師にお招きし「転倒災害防止対策について」と題した特別講演を開催し、労働災害で最も割合の大きい転倒災害の中で最大の原因となっている「すべり」について、その発生メカニズム、評価方法、対策について解説していただきました。

最後に、協同組合高津工友会の滝川事務局長が閉会の辞を述べて、本大会の幕を閉じました。



原支部長



渋谷署長



南宮前区長



安全表彰の(株)北見建築

令和5年度「全国安全週間」スローガン

高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場

川崎北労働基準監督署からのお知らせ

第14次労働災害防止計画(川崎北計画)の概要

川崎北労働基準監督署(2023年)

計画期間 2023年度から2027年度まで

計画の全体目標

- ・2027年までに、管内の労働災害による死亡者数を2人以下とする。
- ・2027年までに、管内の労働災害による死傷者数を2022年(541人)と比較して5%以上減少(513人以下)させる。

目標達成のための重点事項

次の重点事項ごとに、

- 事業者による取組状況等に関する「アウトプット指標」と、取組により期待される結果に関する「アウトカム指標」を定め、実施状況を確認しつつ計画を推進します。
- 各重点事項については、事業者が労働者の協力を得て、一体的に取り組むことが重要です。

- ・自発的に安全衛生対策に取り組むための意識啓発
- ・労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策の推進
- ・高齢労働者の労働災害防止対策の推進
- ・多様な働き方への対応や外国人労働者等の労働災害防止対策の推進
- ・業種別の労働災害防止対策の推進
- ・労働者の健康確保対策の推進
- ・化学物質等による健康障害防止対策の推進

※ 詳細は神奈川県労働局のホームページにある「川崎北労働基準監督署からのお知らせ」を参照してください。

熱中症を防ごう

厚生労働省では労働災害防止団体などとともに「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」(期間:令和5年5月~9月)を実施しており、あらゆる機会に熱中症予防対策の周知を図っています。

前日のチェック

- 仕事前日の飲酒は控えめに
- ぐっすり眠る
- 熱中症警戒アラート確認

仕事前のチェック

- よく眠れたか
- 食事をしたか
- 体調は良いか
- 二日酔いしていないか
- 熱中症警戒アラート確認

仕事中のチェック

- 単独作業を避け、声をかけ合う
- 監督者は現場パトロール
- 水分・塩分の補給
- こまめに休憩

詳しくはコチラ



異常時の措置

~少しでも異常を感じたら~

- ・いったん作業を離れ、休憩する
- ・病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ
- ・病院へ運ぶまでは一人きりにしない



職場における熱中症予防

検索

新入社員安全衛生教育

4月7日てくのかわさき、4月10日高津市民館にて「新入社員安全衛生教育」を開催しました。

講師に川崎北労働基準監督署安全衛生課の吉田雄二課長と労働安全コンサルタントの阿部丈夫氏をお迎えし、新入社員59名が参加しました。

吉田講師より学生と社会人との違い、新人として事故災害防止にあたり注意すべき点などを具体的な事例をもとに講義いただいたことで受講者の理解が深まりました。

また、阿部講師からはテキストに沿った教習をいた

製造業における職長能力向上教育

5月17日にカルッツかわさきにて「製造業における職長能力向上教育」を川崎南支部および鶴見支部との共催で開催し、26名の受講者が参加いたしました。

職長として行うべき労働災害防止および労働者に対する指導または監督の方法に関すること、事業場における安全衛生活動、マネジメントシステム等の指導力向上やグループ演習の内容に加え、井上温講師の経験

熱中症対策講習会

5月24日に高津市民館にて「熱中症対策講習会」を開催し会員事業場より17名が参加しました。

川崎市高津消防署の根本雅則氏による「熱中症の応急処置について」、聖マリアンナ医科大学総合診療内科学任期付助教の藤井啓世氏による「熱中症の予防について」の各講演では熱中症の応急処置や予防に関して、実演やクイズ形式でわかりやすく解説していただきました。また、公益社団法人川崎市歯科医師会の松山知明氏による「熱中症と歯の健康について」の講演では、熱中症と歯の健康との関係という斬新な切り口による講演で熱中症対策への理解が深まりました。

大塚製薬株式会社の芹澤実氏からは、最新の熱中

監督署届出手続講習会

6月20日にカルッツかわさきにて「監督署届出手続講習会」を川崎南支部との共催で実施しました。

本講習は、事業運営に必要となる労働基準法や労働安全衛生法令などに定める労働基準監督署への届出種類や記載方法について、要点を的確にまとめた内容となっています。

業種やケース等により提出方法が異なり、手続き時に監督署担当官より指導を受けることも散見されることから、法令や記載内容を正しく理解し、適切に届け出ることを目的に実施しています。

行政書士・社会保険労務士の茂内優憲氏により、実務に則した分かりやすい講義を行っていただきました。

いただいたことで社会人として職場の中で実践すべき行動を身につけられたと実施後のアンケートでも大変好評でした。



談も交えた研修会となりました。

職長教育は労働安全衛生法第60条に基づいて開催するものです。「事業者は、その事業場の業種が政令で定めるものに該当するときは、新たに職務につくこととなった職長その他の作業中の労働者を直接指導又は監督する者（作業主任者を除く。）に対し、次の事項について、厚生労働省令で定めるところにより、安全又は衛生のための教育を行わなければならない」とされています。

症対策グッズとして注目されているプレクーリングに適した商品をご紹介いただきました。本講習会を通じて、熱中症がどのようなものであるか、その原因や症状、そして最も重要な対策方法について詳しく学ぶことができました。



当日は24名の人事労務管理や安全衛生を担当される方々が参加され、質疑応答を含めて真剣な姿勢で受講されていました。

スムーズで滞りのない届出手続きを実現できるよう、本日の講習内容を活かしていただくことが期待されます。



事務局だより

〔支部行事案内〕

◎安全管理者能力向上教育

- ・日時：9月1日(金)
※近日中開催案内公開予定
- ・場所：カルッツかわさき

◎粉じん教育

- ・日時：9月22日(金)
- ・場所：カルッツかわさき

◎職長能力向上教育

- ・日時：10月3日(火)
- ・場所：カルッツかわさき

◎安全配慮義務講習

- ・日時：10月6日(金)
- ・場所：カルッツかわさき

<ご 案 内>

令和5年度全国労働衛生週間

川崎北地区推進大会について

令和5年度全国労働衛生週間が10月1日(日)から10月7日(土)まで実施されます。会員事業場の労働衛生への取り組みをより一層充実していただくため、準備期間中(9月1日～9月30日)に標記推進大会を川崎北労働基準行政関係8団体の共催により、以下の要領にて開催しますので、ご参加よろしくお願いいたします。

記

1. 日時 令和5年9月8日(金)
2. 場所 川崎市高津市民館
3. 主催 川崎北労働基準行政関係団体
4. 後援 川崎北労働基準監督署
川崎北公共職業安定所

役員雑記帳

<夢と感動を味わえる菊作りに！>

日本の伝統文化とも言われる菊づくりの発祥は中国ですが、日本に伝わって全国に広がり各地で菊花展示会が開催されております。この日本の菊がヨーロッパにも伝わり、現在はスプレー菊として姿を変えて日本に戻って来ました。

全国に広がった菊花展示会も現在は後継者不足で方々の菊花会が存続の危機に陥っているのが大変残念でなりません。

菊は大別すると大菊と小菊盆栽のふたつに分かれますが、大輪の花を咲かせる大菊も大輪にする難しさ。小菊盆栽は古木盆栽風に仕立てる難しさ。いずれも器用な日本人だからこそできる技ではないかと思うところがあります。

別掲の写真は、小菊盆栽で日本一を14回獲得された先生の作品です。

全国トップの作品ともなれば、人に夢と感動を与えてくれる味わい深いものがあります。

よく水やり3年と言われますが、買ったばかりの苗に沢山水をやるのは禁物です。小さい苗は水を控え目で育てるのがコツです。そうすることによって少ない水分を吸収する為に根が張ってきます。根が張れば、葉っぱが大きくなり、葉が大きくなれば幹が太くなり、結果として花が大輪になります。

コツを覚えればしっかり答えてくれる菊は、本当に素直な植物ではないでしょうか。一方、お世話を怠るとその結果は如実に現れくる厳しさもあります。

菊づくりを通して、人に夢と感動を味わってもらえる作者になりたいですね。



日本管財株式会社 神奈川支店 川崎営業所 警備グループ
ジェネラルマネージャー 富岡 秀夫